

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡 本 公 男

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27-5566

平成十九年度

決算を承認

執行委員会

去る八月二日、ホテルセントパレス倉吉において執行委員会を開催し、平成十九年度収支決算を可決、承認したほか、鳥取県医師連盟役員及び議長の選任、衆議院総選挙対策などについて協議した。

岡本委員長挨拶

え、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○本日は、猛暑の中、土曜日のお忙しいところご参集いただき感謝申し上げます。本日の主な議題は、平成十九年度収支決算の承認と次期衆議院総選挙対策であります。決算の詳細については、後ほど担当から説明がありますので、慎重審議のう

○医師連盟における選挙関係は昨年の七月の参議院議員選挙以来ございませぬが、一昨日三十一日、地域医療崩壊阻止のための総決起鳥取大会を開催し、石破防衛大臣も出席され、約三〇〇名もの参会者で大変盛会でありました。各地区医師会長に

おかれては動員等ご協力をいただき感謝申し上げます。

○公益法人改革として日本医師会では公益認定を目指して準備しています。指しして準備しています。が、その中で、政治活動との峻別、医師会役員と医師連盟役員の兼務禁止などの大きな課題があります。日本医師会と日本医師連盟ではそれぞれ委員会を設置して問題点の解決にむけて議論が始まっています。鳥取県医師会、鳥取県医師連盟も同様ですので、日本医師会の状況を見極めながら、具体的なものが出来まいりましたら、それから検討していきたいと考えております。そういう問題があることをご承知

おき下さい。

○衆議院総選挙につきましては、後ほどご説明致しますが、日本医師連盟は今後とも政権政党である自民党を支持する方針に変わりはありません。鳥取県医師連盟としても同じ方針で進みたいと思いますので、今後とも医政活動にご理解、ご協力をお願い申し上げます。あたっての挨拶と致します。

鳥取県医師連盟役員及び議長を選任について

医師会役員の改選に伴う医師連盟の役員について決定した。

また、執行委員会の議長は板倉和資先生（東部）を選任した。

日医連執行委員会の
出席報告(岡本委員長)

五月二十日、日本医師会館において開催された。主な議事は、今回の日本医師会役員改選に伴う日本医師連盟役員の人事等で、執行委員は各県の委員長一名のほか、A1会員一、五〇〇人につき一人が追加される。長田昭夫先生が引き続き、会計監督者に選任された。

ら、連盟規約改定検討委員会が設置されることとなった。

平成十九年度収支決算
承認について

○医師連盟会計

収入済額二四、〇六四、三二九円、支出済額一三、二四九、〇三四円、収支残額一〇、八一五、二九七円の決算を承認した。詳細は六頁を参照。

衆議院総選挙対策に
ついて

また、平成二十二年に行われる参議院議員選挙対策として、選挙対策委員会を設置することが決定した。さらに、公益法人改革に関連して、日本医師会の公益認定にあたり、政治活動との峻別、役員の兼務など大きな課題があることかとおり。

○与党べったりではなく候補者で判断してはどうか。役員だけでなく地区で会員と話す機会を設けてほしい。

○医師連盟は何に對して強いのか。与党から利用されるだけではダメだ。闘う医師連盟であるべきだ。

○政権与党が自民党以外となったらどうするのか。自民党だから推薦するのはなく、政策を聞いてから決めてはどうか。特に今の社会保障費二、二〇〇億円削減についての意見を聞きたい。

○以前、小泉政権の医療政策に對しては反対したではないか。

○政権を決めるのは選挙民である。

○医療政策についてどう考えているか公開質問状を出し、回答をもらってから議論した方が会員には説明がつく。

○民主党の医療政策には問題があり、二、二〇〇億円削減撤廃のことは言わないし逃げている。やはり自民党を推すべきである。

○赤澤亮正議員から挨拶があった。(要旨)

本日はこのように挨拶の機会をいただき、議論を聞かせていただき感謝する。

政治とは国民との信頼関係が大切である。年金問題から国への信頼が揺らぎ政治不信となっている。国民の医療を守っていただいている先生方との信頼関係を築いていくことを強く願っている。私自身国土交通省出身の役人であり、議員になってからはまずは農林水産分野から勉強したが、社会保障分野は難しいながらも勉強していきたい。日医主宰の国会議員によるグループの勉強会に参画させていただいております。財政再建ありきで社会保障費を機械的削減し地域医療崩壊の危機を感じ政策転換しない与党・政府は問題だと思う。

政治とは国民との信頼関係が大切である。年金問題から国への信頼が揺らぎ政治不信となっている。国民の医療を守っていただいている先生方との信頼関係を築いていくことを強く願っている。

を科すのはよくない。患者との信頼関係を損ない地域医療が立ち行かなくなるのは問題だ。第三次試案はい方向でまとまったと思う。産科、小児科不足、救急患者の拒否問題など取り組んでいきたい。小泉改革

では建設三%、医療二、二

〇〇億円という数字だけに

とらわれており国民のため

になっていない。与野党

間、都市と地方など議員の

中にもいろいろあり、改革

は慎重にしないと地方にし

わ寄せがくる。信頼関係を

築くべくお役に立てるよう

勉強していきたいのでぜひ

ともよろしくお願いした

石破議員秘書（杉本氏）

議員は宮崎におり失礼し

ている。日頃お世話になっ

ており感謝申し上げます。

本日の議論を議員に伝える

ので、よろしくお願いした

い。

協議の結果、鳥取第一選

挙区は石破 茂氏、鳥取第

二選挙区は赤澤亮正氏のい

ずれも自民党の現職を推薦

することに決定した。

なお、今後各地区におい

て会員に向けて現状の説明

報告、選挙対策の協議、理

解を求めていくことなどを

確認した。

その他

〇前回の執行委員会で見

のあった、日本医師連盟

負担金と日本医師連盟か

らの交付金の状況につい

ては、平成十四年度から

定率四〇%の交付金と

なっている。それ以前は

自民党費に対する助成と

後期負担金に対する助成

などまちまちであった。

推薦候補者を決定！ Ⅱ次期総選挙Ⅱ

鳥取県医師連盟は去る八月二日、倉吉市・ホテルセントパレス倉吉において執

行委員会を開催し、近く予想される衆議院の解散、総選挙対策について協議し、

石破 茂、赤澤亮正の両氏（いずれも自民党・現職）の推薦を決定した。

石破 茂氏（鳥取第一選挙区・自民党）



略歴

昭和三十二年生。

慶応大学卒。

三井銀行を経て、昭和六十一年

初当選。七期目。

前防衛大臣。五十一歳。

赤澤 亮正氏（鳥取第二選挙区・自民党）



略歴

昭和三十五年生。

東京大学卒。

国土交通省などを経て、平成十

七年初当選。一期目。四十七歳。



日医連執行委員会報告

日本医師連盟は平成二十年九月十六日に執行委員会を開催し、来る衆議院総選挙・参議院選挙に向けて基本的方向を協議した。

唐澤委員長挨拶

本日はご多用の中、蒸し

暑い気候の中ご参集いただき感謝申し上げます。最近はゲリラ的豪雨、各地の地震など天候だけではなく、永田町の政治の世界でも福田総理が辞任表明するなど一刻先も分らない情勢となっています。本日は、新しい政治についてお互いに確認し、来る衆議院総選挙あるいは参議院選挙に向けて医師連盟の基本的方向をご協議いただきましたのでよろ

しくお願いしたい。

西島参議院議員挨拶

本日はお招きいただき感謝申し上げます。福田総理が

突然に辞任表明し自民党は総裁選挙のまっ只中である。辞任の理由はいろいろ言われているが、参議院では与野党ねじれ現象で重要な法案が全く審議されていない。補正予算、インド洋の給油問題など臨時国会でも決まらないのではないかと懸念があった。①二、二〇〇億円抑制の骨太方針

に多くの議員が反対している。年金医療等の特定の経費に関しては税制上の措置をすることとし、抑制の対象としない方針がほぼ決まった。ほとんどの自民党

十月一日から減額対象としていたが患者の追い出しに繋がるとして中医協で止めさせた。

国会議員が保険あってサービスなしとの強い危機感から決定した。②大野病院事件は業務上過失致死傷、医師法二十一条違反ともに無罪が確定となった。民主党から二十一条削除の対案が出されたが、そもそも医師には守秘義務があり二十一条はこれを除外する意味がある。今、医療安全調査委員会を議論しているのをご理解をお願いしたい。③診療報酬の課題で一般病床における脳卒中後遺症と認知症に関しては入院費減額の対象としないこととした。

様々な課題が次から次と出てくる。先生方が安心して医療提供できる、国民が安心して医療を受けられる医療制度に向けて全力で取り組みのご支援をお願いしたい。また、英仁会のご案内をし、多くの先生方からご支援いただいたことに感謝申し上げます。

平成二十年度 交付金について

例年通り四〇%を各県へ交付することとされた。なお、平成二十一年度分は二〇%とし、過去の参議院選挙時に負担いただいた特別会費は徴収しない予定にしている。来年度に改めて提案したい。

「選挙対策委員会」における「参議院比例代表候補者並びにその他候補者等の選考基準」と「参議院比例代表候補者選出要領」のとりまとめについて

平成二十二年夏の参議院選挙に向けて推薦候補者の選考基準、選出要領について協議、意見交換が行われ、一応原案のとおり承認された。主な意見は次のとおり。

○推薦は一名なのか。↓集票能力があれば複数でもよいが過去の実績からすると一名としたい。

○民主党は支援できない。政権与党を推すべきで一名でよい。

先に書面で依頼しているの
 当責任者の推薦について

その他報告事項

○衆議院三〇〇小選挙区担
 頭においたものであり、
 まず一人を推薦するこ
 とでよい。

○選挙基準は次回、平成二
 十二年の参議院選挙を年
 頭においたものであり、
 まず一人を推薦するこ
 とでよい。

○候補者が複数の場合は多
 数決で決する。その後は
 全力で支援すること。
 ○小泉改革で社会保障費が
 削られた。自民党は推せ
 ない。筋の通った政党を
 第一党に育てるべきだ。

○自民党からバカにされて
 いる。会長就任パーティ
 に総理、厚生労働大臣が
 来なかった。国民を切り
 捨てる政党は応援できな
 い。

で、よろしくお願
 したい。

○国会議員との各種
 勉強会の開催状況
 について
 カトレア会、日本
 医療懇話会など医療
 問題に関する国会議
 員との勉強会の状況
 について資料説明が
 あった。

○日本医師連盟・参
 与人事について
 武見敬三氏を参与
 とすることが承認さ
 れた。

○その他
 長崎県では医師が
 立候補するのでよろ
 しくお願したい。

○その他
 長崎県では医師が
 立候補するのでよろ
 しくお願したい。

○その他
 長崎県では医師が
 立候補するのでよろ
 しくお願したい。

○その他
 長崎県では医師が
 立候補するのでよろ
 しくお願したい。

「参議院比例代表候補者並びにその他候補者の選考基準」

1. 参議院比例代表選挙候補者
 - (1) 参議院比例代表選挙における日本医師連盟の推薦候補者については、広く会員の中から公募する。
 ただし、会員以外の者であっても、国政活動面において日本医師会の政策実現に貢献し得る候補者である場合は、応募することが出切る。
 - (2) 応募しようとする者は、複数の都道府県医師連盟の推薦を要するものとする。
 なお、各都道府県医師連盟の推薦候補者は1名とする。
 - (3) 日本医師連盟の推薦枠は、原則として1名とする。
 - (4) 候補者は、日本医師連盟委員長が公募する。
2. 衆議院議員選挙候補者
 衆議院議員選挙に関する日本医師連盟推薦候補者については、都道府県医師連盟の要請があったものに基づき、日本医師連盟が決定する。
3. 参議院選挙区選挙候補者
 参議院選挙区選挙に関する日本医師連盟推薦候補者については、都道府県医師連盟の要請があったものに基づき、日本医師連盟が決定する。
4. その他
 その他、首長選挙、都道府県並びに市町村議会議員選挙に関する推薦候補者については、原則各都道府県医師連盟及び各都市区医師連盟において対応するものとする。

「参議院比例代表候補者選出要領」

1. 日本医師連盟は、「参議院比例代表候補者並びにその他候補者の選考基準」に基づき、推薦候補者の公募を行う。
2. 各都道府県医師連盟は、「参議院比例代表候補者並びにその他候補者の選考基準」に基づき、各都市区医師連盟の意見を反映した上で、候補者を日本医師連盟に推薦する。
3. 推薦候補者は、「経歴書（含む業績等）」、「マニフェスト」、「都道府県医師連盟推薦状」、「本人承諾書」を、日本医師連盟まで、別途定める時期までに提出するものとする。
4. 推薦候補者は、「執行委員会」において多数決により決定する。
5. 決定された推薦候補者は、日本医師連盟、都道府県医師連盟ならびに郡市区医師連盟の総意に基づくものであり、各医師連盟は、総力を挙げて推薦候補者を支援しなければならない。

平成19年度鳥取県医師連盟収支決算書

【収入の部】

(単位：千円)

款	項	予算額	支出済額	差引残額	摘 要
1. 会 費		12,210,000	12,147,500	- 62,500	東部 4,562,500円 中部 2,077,500円 西部 5,507,500円
	1. 会 費	12,200,000	12,147,500	- 52,500	
	2. 特別会費	10,000	0	- 10,000	
2. 寄付金		3,208,000	3,583,000	375,000	交付金 3,583,000円
	1. 日医連寄付金	3,208,000	3,583,000	375,000	
3. その他の収入		1,000	16,425	15,425	普通預金利息
	1. 雑 入	1,000	16,425	15,425	
4. 繰越金		8,500,000	8,317,404	- 182,596	前年度繰越金
	1. 繰越金	8,500,000	8,317,404	- 182,596	
収 入 合 計		23,919,000	24,064,329	145,329	

【支出の部】

款	項	予算額	支出済額	差引残額	摘 要
1. 事務費		200,000	121,527	- 78,473	電話代、印刷費、送料他
	1. 一般事務費	200,000	121,527	- 78,473	
2. 組織活動費		3,850,000	2,867,705	- 982,295	医師連盟TOTTORI (2 回発行)
	1. 旅 費	2,000,000	1,738,240	- 261,760	
	2. 会議費	500,000	391,925	- 108,075	
	3. 懇談会費	1,000,000	416,345	- 583,655	
	4. 負担金	50,000	0	- 50,000	
	5. 広報費	300,000	321,195	21,195	
3. 選挙関係費		1,000,000	0	- 1,000,000	
	1. 寄付金	1,000,000	0	- 1,000,000	
4. 寄付交付金		10,276,000	10,259,800	- 16,200	負担金 @20,000円×401人=8,020,000円 東部 555,000円 中部 270,000円 西部 675,000円 @2,700円×274人
	1. 日医連負担金	8,020,000	8,020,000	0	
	2. 地区連絡費	1,500,000	1,500,000	0	
	3. 支部交付金	756,000	739,800	- 16,200	
5. その他の経費		8,593,000	0	- 8,593,000	
	1. 予備費	8,593,000	0	- 8,593,000	
支 出 合 計		23,919,000	13,249,032	- 10,669,968	

収支差引残額 10,815,297円は平成20年度へ繰越